

環境経営レポート

活動期間 2021年6月1日～2022年5月31日



本社屋から望む北アルプス

発行日：2022年6月30日

株式会社 振興建設

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 活動組織体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標の実績	4
6. 環境経営計画の取組結果と評価	5
7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12

1. 環境経営方針

【環境理念】

『地球環境への配慮と共存に努める』

当社の経営方針の一つであり、建設業における事業活動及び製品・サービスにおいて、環境負荷の継続的低減に努め、地域住民への配慮、自然環境の保護を実施する為に必要な活動及び姿勢を明確にし実行します。

【環境経営方針】

1. 建設工事における環境負荷低減に取り組みます。
 - ①電力、化石燃料の消費に伴うCO₂排出量を削減します。
 - ②廃棄物の分別と再利用の徹底により排出量を削減します。
 - ③水使用量を削減します。
 - ④化学物質の適正管理をします。

2. 環境経営の継続的改善を実施します。

3. 環境関連法規等を遵守します。

以上、環境経営目標を設定し従業員に周知徹底させ、定期的に見直しを行い継続的改善に努めます。

制定日：2011年9月16日

改訂日：2020年9月1日

株式会社 振興建設

代表取締役 村山 泰弘

2. 組織の概要

1) 会社名及び代表者名

株式会社 振興建設
代表取締役 村山 泰弘

2) 所在地

本社 長野県安曇野市豊科433番地8
中曽根機材センター 長野県安曇野市豊科高家4867番地1

3) 環境管理責任者及び担当者

責任者及び担当者 土木部 主任 佐藤 吉一
連絡先 TEL 0263-72-3119
FAX 0263-72-3350
E-mail : shinkou@saturn.plala.or.jp
URL : <https://www.shinkou-kensetsu.net>

4) 事業の概要

建設業 土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業
解体工事業

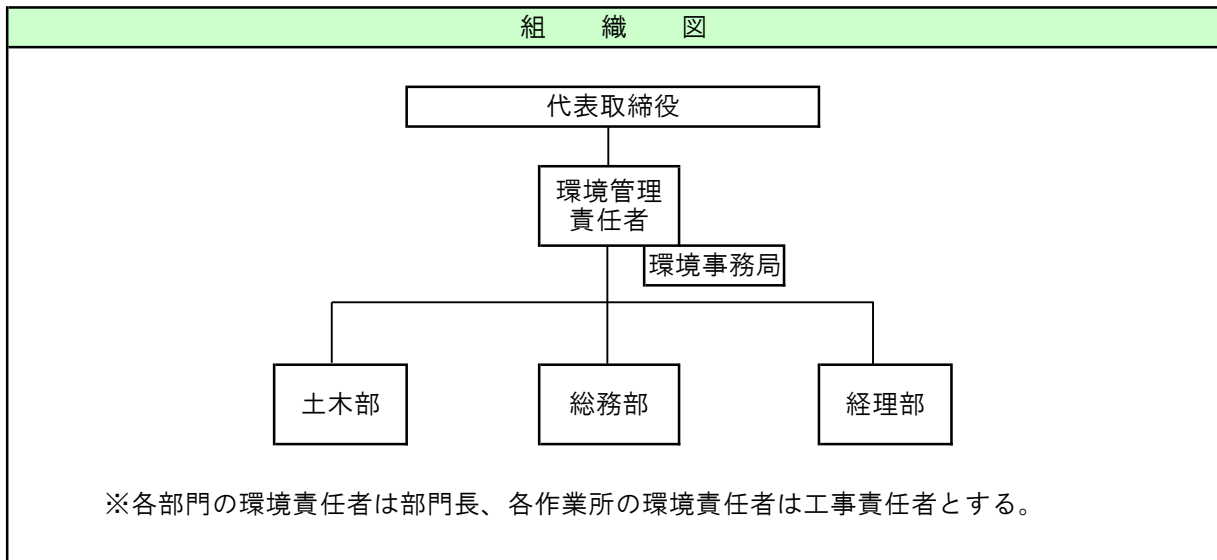
5) 事業の規模

売上高 452百万円（第54期 2021年6月1日～2022年5月31日）
従業員数 15名
本社床面積 749.51㎡

6) 対象範囲

全組織・全活動・全従業員

3. 活動組織体制



責任者	実施事項
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営システム運用のための人的資源・設備・技能・技術者並びに資金の確保 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・環境経営システム全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用・管理の責任者 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標・環境経営計画書の確認 ・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・長野県産業廃棄物3R実践協定計画書、報告書の作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営システムに関する記録の管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長・ 工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施担当者 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の部員に対する教育訓練の実施、記録の作成 ・自部門・作業所に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門における緊急事態へのテスト、訓練を実施、記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針・環境経営目標の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的・主体的な環境経営計画への参加

4. 環境経営目標

環境目標項目	単位	2019年度 (基準年)	2020年度 (基準年-0.5%)	2021年度 (基準年-1.0%)	2022年度 (基準年-1.5%)
電力（本社）	kWh	14,345.00	14,273.00	14,202.00	14,130.00
電力（センター）	kWh	3,899.00	3,880.00	3,860.00	3,841.00
ガソリン、軽油（現場）	L	42,923.20	42,708.58	42,493.97	42,279.35
ガソリン（事務所）	L	2,257.25	2,245.96	2,234.68	2,223.39
灯油	L	359.00	357.21	355.41	353.62
L P G	kg	1,343.61	1,336.89	1,330.17	1,323.46
総CO ₂ （電力排出係数0.426kg-CO ₂ /kWh） （中部電力㈱2019年度数値採用）	kg-CO ₂	127,460.16	126,822.86	126,185.56	125,548.26
総CO ₂ （売上高単位当り）	kg-CO ₂ /百万円	286	285	283	282
一般廃棄物	kg	86.44	86.01	85.58	85.14
産業廃棄物	t/百万	—	3.80	3.80	3.80
水使用量	m ³	100.00	100.00	99.00	99.00

5. 環境経営目標の実績

活動期間（2021年6月1日～2022年5月31日）の実績

目標値は基準年に対して-0.5%

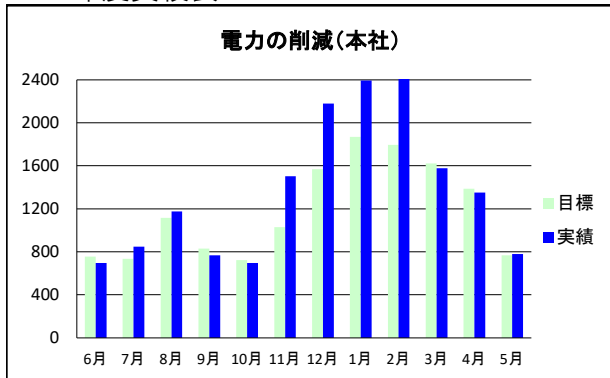
環境目標項目	単位	目標値	実績値	対目標比率	評価
電力（本社）	kWh	14,202.00	16,627.00	117%	×
電力（センター）	kWh	3,860.00	5,533.00	143%	×
ガソリン、軽油（現場）	L	42,493.97	45,696.57	108%	△
ガソリン、軽油（事務所）	L	2,234.68	3,484.49	156%	×
灯油	L	355.41	354.00	100%	○
L P G	kg	1,330.17	1,406.57	106%	△
総CO ₂ （電力排出係数0.426kg-CO ₂ /kWh） （中部電力㈱2019年度数値採用）	kg-CO ₂	126,185.56	139,984.83	111%	×
総CO ₂ （売上高単位当り）	kg-CO ₂ /百万円	283	309	109%	△
一般廃棄物	kg	85.58	94.30	110%	×
産業廃棄物	t/百万	3.80	8.37	220%	×
水使用量	m ³	99.00	136.00	137%	×

6. 環境経営計画の取組結果と評価

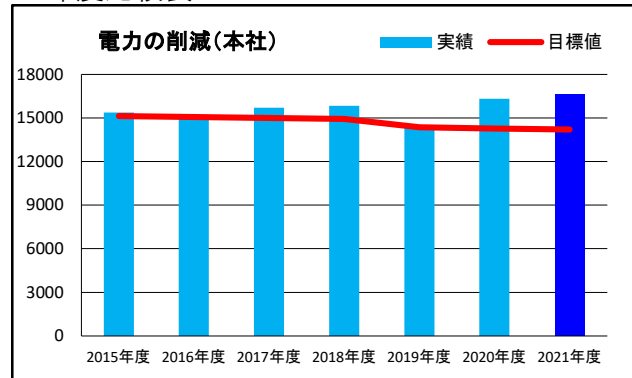
取組計画	評価	達成状況
【電力の削減（本社）】 ・昼休み、不在時の消灯 ・夜間、休日はパソコン等のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○ △ ×	節電対策を行っているが、気候状況等により電力消費量を抑制できなかった。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



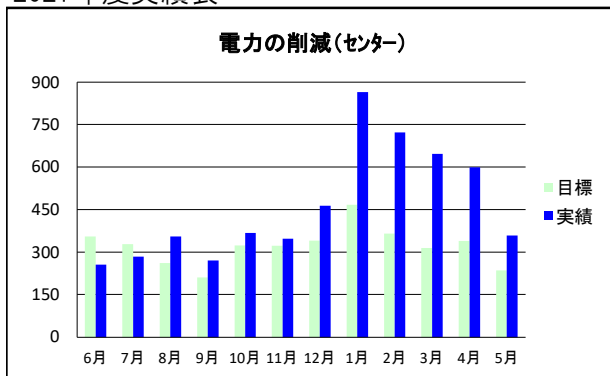
年度比較表



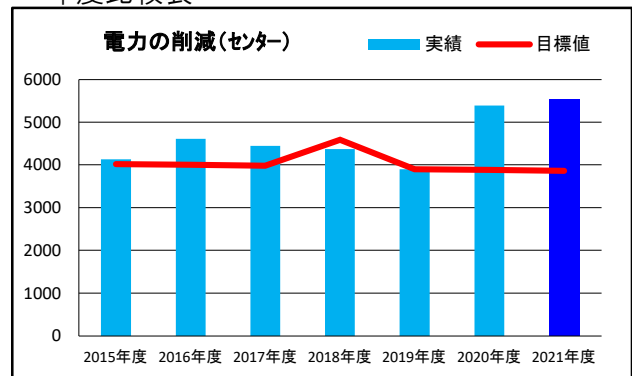
取組計画	評価	達成状況
【電力の削減（センター）】 ・昼休み、不在時の消灯 ・不在時のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○ △ △	気候状況等により冷暖房機器の使用頻度が増加したことから、電力消費量を抑制できなかった。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



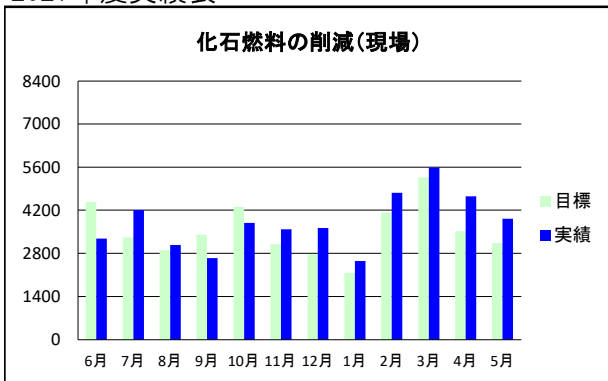
年度比較表



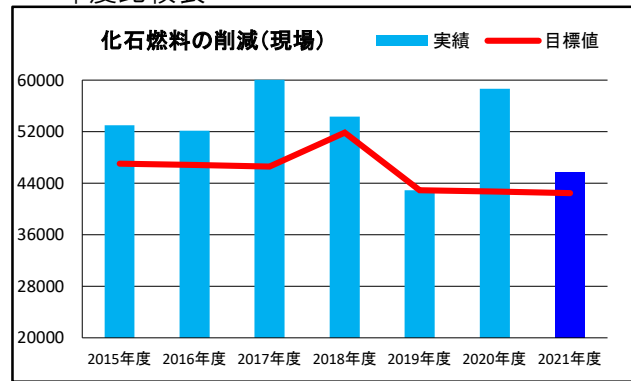
取組計画	評価	達成状況
【ガソリン、軽油の削減（現場）】 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・冷暖房の控えめ使用 ・建設機械等の作業停止時のエンジンストップ ・現場移動時の相乗り乗車の推進 ・重機アクセル8割の実施 ・ファン等の清掃で燃費向上	○ △ ○ ○ ○ ○ ○ △	工事における重機使用の割合が高かったことから、軽油の使用量が増加し未達となった。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



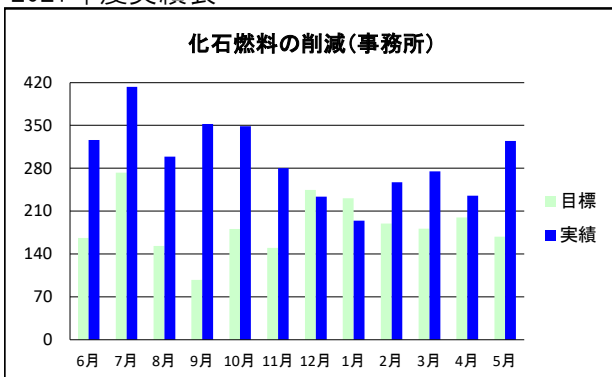
年度比較表



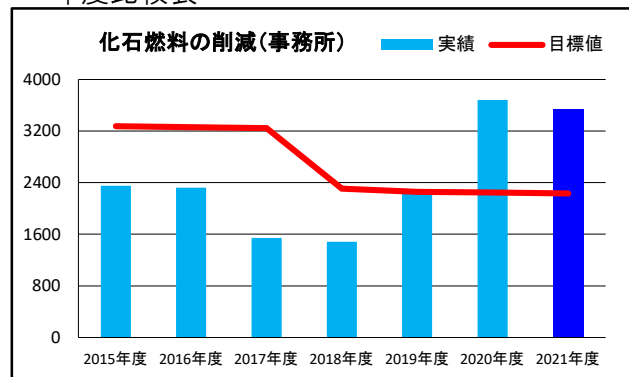
取組計画	評価	達成状況
【ガソリンの削減（事務所）】 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・冷暖房の控えめ使用 ・ファン等の清掃で燃費向上	△ △ ○ △	車両数の増加により未達成となった。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



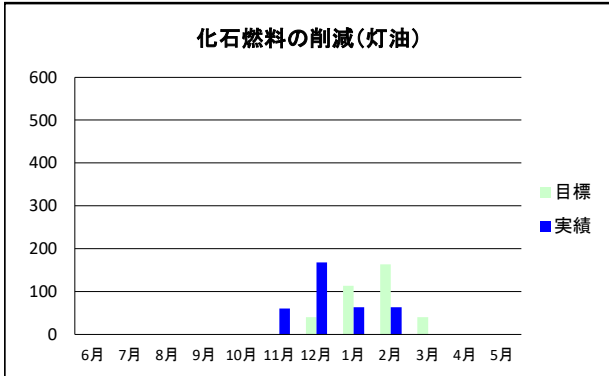
年度比較表



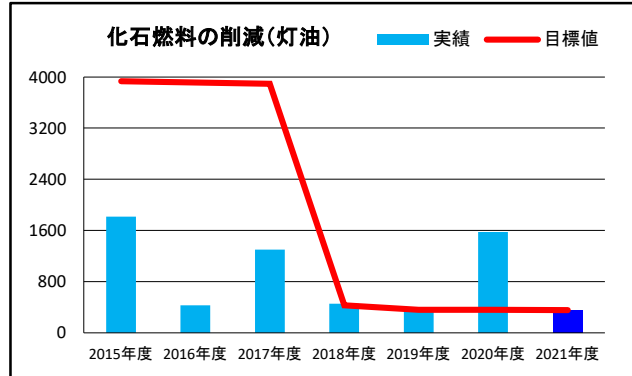
取組計画	評価	達成状況
【灯油の削減】 ・暖房の適正化（暖房20℃） ・現場では施工方法や作業方法の見直し	△ ○	使用量を抑制できたことから目標を達成できた。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



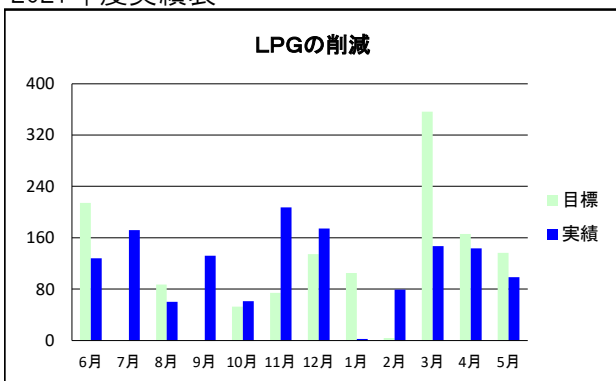
年度比較表



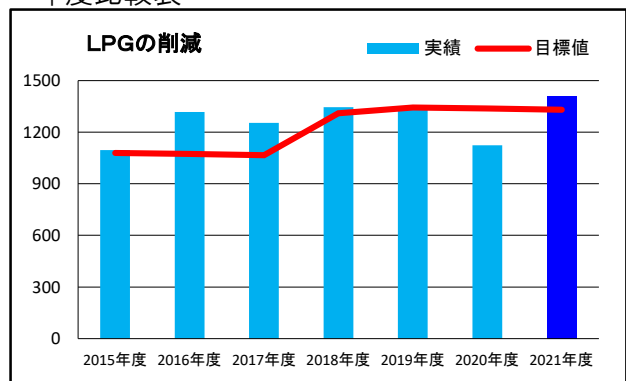
取組計画	評価	達成状況
【LPGの削減】 ・LPGの節約 ・給湯器の適温使用 ・現場では施工方法や作業方法の見直し	○ ◎ ○	工事の種別として舗装工事の比重が多くなったことから、未達となった。

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



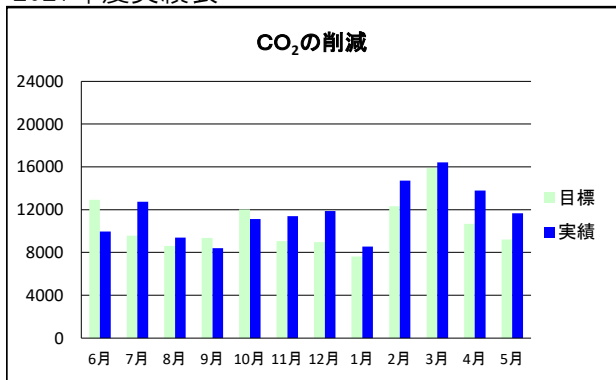
年度比較表



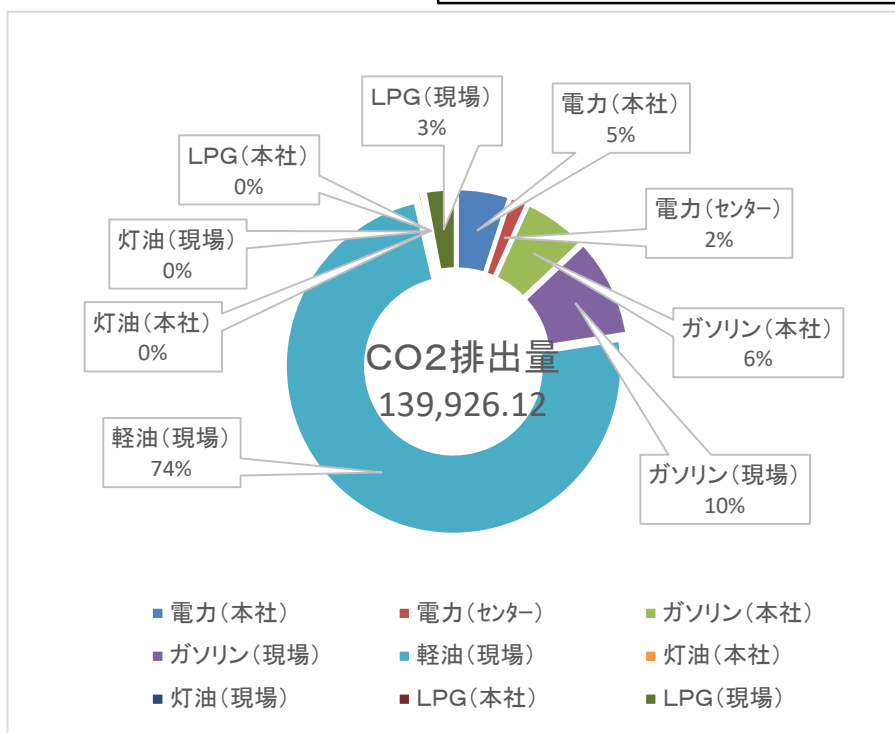
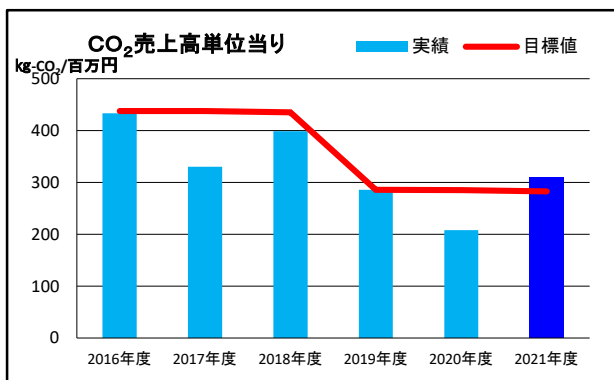
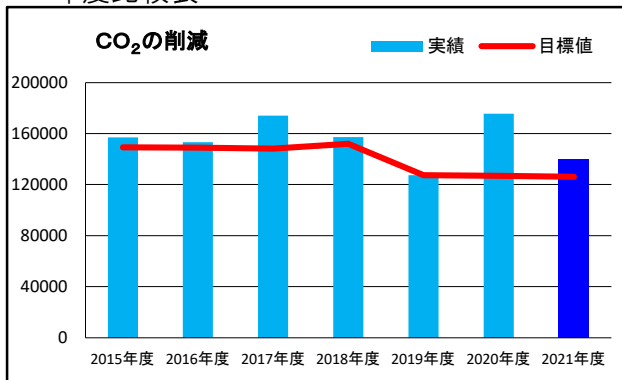
【CO₂の削減】

今年度のCO₂排出量の削減は未達成となった。完工高や工事の種別等に左右される部分はあるが、CO₂排出量の中で約3/4を現場での軽油の消費が占めていることから、軽油の消費量の抑制について重点を置いて今後の活動に取り組んでいきたい。

2021年度実績表



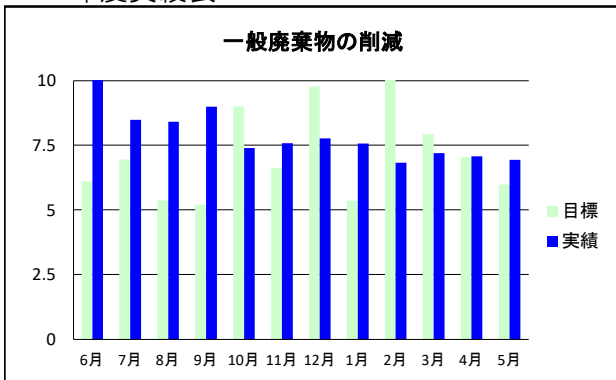
年度比較表



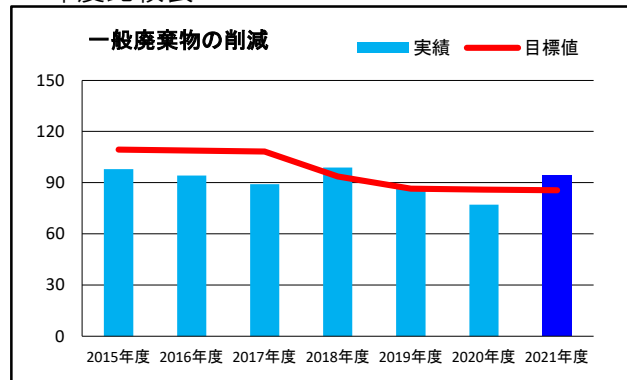
取組計画	評価	達成状況
【一般廃棄物の削減】 ・裏紙利用、両面印刷、集約印刷の徹底 ・社内LAN利用による会議資料のペーパーレス化 ・再資源化物との分別徹底	○ ◎ ○	分別の徹底や削減に取り組んだが目標達成までには至らなかった。
【産業廃棄物の削減】 ・廃棄物の分別と再利用の徹底 ・廃棄物の適正処理	◎ ◎	分別の徹底と廃棄物の適正処理が実施できている。
【会社周辺の清掃】 ・年度始に会社周辺のクリーン作戦実施	◎	地域のボランティア活動へ全員参加で取り組んだ。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



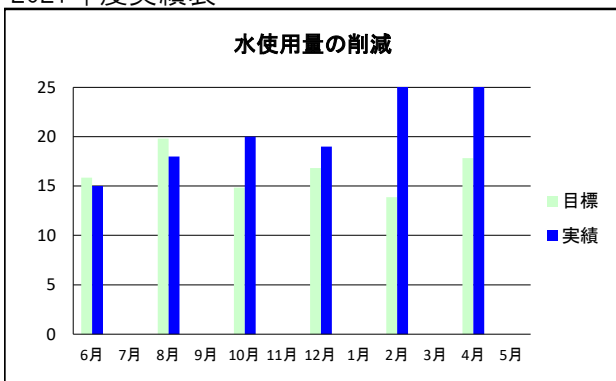
年度比較表



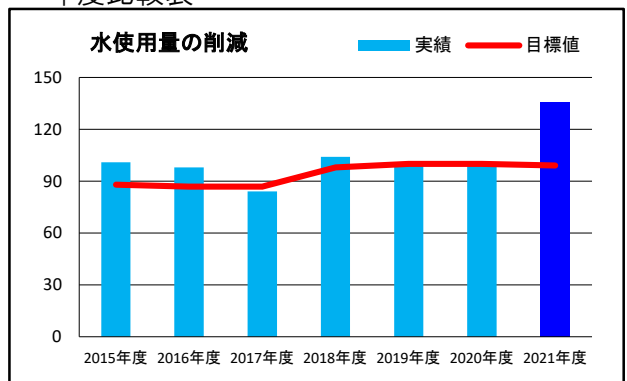
取組計画	評価	達成状況
【水道水の削減】 ・水道水の節水 ・水を出しっぱなしにしない ・現場では用水の積極的利用	○ ○ △	センターのトイレの水洗化により使用量が増加し未達成となった。

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

2021年度実績表



年度比較表



7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標項目	単位	目標値	取組計画	取組の進め方
電力 (本社)	kWh	16,461.00	【電力の削減(本社)】 ・昼休み、不在時の消灯 ・夜間、休日はパソコン等のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正利用	気候変動が大きいので、適温管理ではなく、節電を心掛ける。
電力 (センター)	kWh	5,505.00	【電力の削減(センター)】 ・昼休み、不在時の消灯 ・不在時のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正利用	次年度も節電に重点をおき取り組む。
ガソリン、軽油 (現場)	L	45,468.09	【ガソリン、軽油の削減(現場)】 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・冷暖房の控えめ使用 ・建設機械等の作業停止時のエンジンストップ ・現場移動時の相乗り乗車の推進 ・重機アクセル8割の実施 ・ファン等の清掃で燃費向上	日々の点検項目でも達成手段を実施して、取り組んでいきたい。
ガソリン (事務所)	L	3,538.78	【ガソリンの削減(事務所)】 ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ ・冷暖房の控えめ使用 ・ファン等の清掃で燃費向上	取り組み項目に重点をおき実施していく。
灯油	L	352.23	【灯油の削減】 ・暖房の適正化(暖房20℃) ・現場では施工方法や作業方法の見直し	現場では施工方法、事務所では適温使用に取り組む。
LPG	kg	1,399.54	【LPGの削減】 ・LPGの節約 ・給湯器の適温使用 ・現場では施工方法や作業方法の見直し	舗装工事に左右されるが、作業方法の見直しなどを引き続き取り組んでいく。
総CO ₂ (売上高単位当り)	kg-CO ₂ /百万円	137,689.83 307.00	【総CO ₂ の削減】 ・各目標達成状況の確認と改善	現場での排出量削減取り組みに重点をおき活動していく。
一般廃棄物	kg	93.83	【一般廃棄物の削減】 ・裏紙利用、両面印刷、集約印刷の徹底 ・社内LAN利用による会議資料のペーパーレス化 ・再資源化物との分別徹底	資料のペーパーレス化に更に取り組んでいきたい。
産業廃棄物	t/百万円	3.80	【産業廃棄物の削減】 ・廃棄物の分別と再利用の徹底 ・廃棄物の適正処理 ・無駄な材料購入を見直し、廃棄物の削減	引き続き取り組んでいく。
水使用量	m ³	135.00	【水道水の削減】 ・水道水の節水 ・水を出しっぱなしにしない ・現場では用水の積極的利用	次年度も節水に取り組んでいく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は下記の通りです。

法規制等の名称	当社に適用される要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託	遵守
	マニフェストの交付、保管、報告	遵守
建設リサイクル法	対象工事の届出、再資源化等の実施、報告	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	対策型建設機械の使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	適応建設機械の使用	遵守
騒音規制法	対象特定作業の届出	期間中該当なし
振動規制法	対象特定作業の届出	期間中該当なし
消防法	第4類危険物の指定数量	遵守

環境関連法規等の遵守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認致しました。

また、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

・今期の活動を振り返ると、未達成の項目が目立つ。売上高は2019年度と同等であったので、その年と比較すると現場の化石燃料は想定内だが、売上高にほぼ影響を受けない事務所、センターに関しては多い年であった。原因に挙げられるのは、社用車の台数が増えたことや、新規事業においての営業回りで社用車の使用が増えたことと思われる。今年度の目標数値は前年度と変更無しで良いと思われる。

・毎年「アイトリングストップ」を取組み計画として重点的に実施しているが、現場(特に移動の多い舗装工事)状況に応じて、熱中症対策で夏場エアコンをつけ車内での休憩や、冬季の霜取りやエンジンの暖気は仕方がない事と思うが、「アイトリングストップ」という意識は常に指導していき一人一人が1日少しでも気にすれば日々の積み重ねで大きな結果を生むことを分かってもらいたい。規模の大きい現場には休憩小屋を設置し、冷暖房など衛生環境を整えるよう指示していく。

・また、作業環境の改善にも指示していく。効果としては、①施工方法改善、ICT化→②作業効率アップ→③無駄な機械作業削減(事務残業削減)→④燃料削減(事務所電力、燃料削減)となる。

・前年度でも記載したが、将来的に、社用車をEV化、事務所を建直するときにはZEB化、ICT化による無駄な作業(手戻し工事)を削減し、建設業ができるゼロカーボンに取り組んでいきたい。

2022年6月30日

代表取締役 村山 泰弘